

現在日本では、全国各地において地震だけでなく、様々な自然災害が発生しており、防災対策が重要となっています。天草では防災行政無線の受信機の設置があり、また皆様の中にも新たに防災用品を購入し、非常時に備えた家庭も多いのではないのでしょうか。このように防災意識が高まっている中、今回の事例検討会において、とても興味深い防災研修ツールを準備いたしました。頭と手を動かす研修であり、防災・避難マニュアルやテレビで流れている情報だけでは、決して気付かない事が発見できるような内容となっております。

## 当日の内容



5～6名のグループワーク形式で、避難所運営の模擬体験ゲームを実施いたします。みなさんには地元自治会または自主防災組合の役員として、避難所（小学校）へ避難してくる人々や、またその間に起こる様々な問題に対応していただきます。

例えば避難所運営には避難所の組織作りから、部屋割り、物資の受け入れ、炊き出し、ペットの扱いやボランティアの受け入れなど、多種多様なことが考えられます。  
お年寄りや妊婦さん、体の具合が悪い人など災害時要援護者への対応・・・  
炊き出し場などの必要なスペースの確保・・・  
認知症の方や寝たきりの方を含んだ世帯が避難して来たり・・・などなどです。

制限時間内に避難者を避難所内に配置していただき、その後グループ内で振り返りを行います。

ゲームですので気軽に体験していただければと思います(^^)

